

【施策評価調査】

施策名	1-4-1	石綿セメント管更新事業		78	政策を推進するには、より安心な水道水の安定供給が必要であるため より安全な水道水の供給……老朽管による漏水の解消 より安定した水道水の供給……配水管網の整備による水量・水圧不足の解消 顧客満足度の高い水道事業の運営……モニター制度導入による公聴の充実 以上の事を解消する事により、安心した水道水を供給します。当施策は、の観点から実施します。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部上下水道課	担当	建設整備担当		より安全な水道水を供給するため、公共事業と連携を図りながら、老朽化した石綿セメント管を計画的に更新します。
		リーダー	阿久津幽樹		
環境変化	平成20年8月に石綿セメント管更新事業更新計画を策定し、事業期間は平成20年度から平成26年度まで、国庫補助基本額は540,000千円、国庫補助額は135,000千円の計画で、国庫補助事業の認定を受けました。				

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：石綿セメント更新整備計画延長 25,616m	平成16年度までの実績 12.9%	計画	21.0%	26.0%	34.8%	47.9%	61.0%
		実績	22.9%	32.8%	38.7%		
指標：		計画					
指標：		実績					
指標：		計画					
指標：		実績					
指標に関する特記事項	毎年、除却された石綿セメント管の累積率となっています。 9,916.68m(石綿セメント管除却累積延長) ÷ 25,616m(石綿セメント管更新全体延長)						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	61,980,000	99,800,000	112,420,000		
決算	36,445,500	110,866,875	83,737,500			

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
区画整理事業に伴う配水管布設替工事	当初 5,460,000	平成20年度 配水管の布設延長	A	区画整理事業の道路築造工事に併せて、布設工事を実施していることから時間・建設費両面のコストを縮減できた。水道管路を整備することにより水道水の安定供給が図られた。			
	決算 14,112,000	734.85 / 300.0 m		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
配水管布設替工事費(宝積寺地区)	当初 106,960,000	平成20年度 石綿セメント管の更新延長	A	今年度から国庫補助事業の採択を受け工事を実施したことから、経営の安定化に寄与した。漏水の解消、耐震性が向上することで水道水の安定供給が図られた。			
	決算 69,625,500	1,509.22 / 2,616.0 m		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	<input type="checkbox"/> 総合評価 <input type="checkbox"/> 他事業と併せて継続的に施策展開されていると評価する。 後期計画に向けて、関連する他施策と整合を図った上で、連携のとれた施策展開を行うとともに、配水施設の耐震診断結果による整備計画も財政状況を勘案しつつ、よく検討すること。	今後、既存道路に埋設された石綿セメント管の布設替を本格的に実施することから、地域住民に対して広報等を通し早めに周知徹底を図る。 工事実施に当たっては、下水道工事と同時施工、又市街地管網整備事業もセットで事業を行う。駅西第2地区は地域の計画決定後に、次期下水道認可区域は下水道工事と同時施工として実施する。